

平成29年度 第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨

日 時 平成29年6月29日（木） 10時00分～12時00分

場 所 商工会館 2階会議室

出席者 19名

- 1 開会
- 2 前回の議事概要の確認
- 3 コミュニティバスのH28年度利用実績報告
- 4 ゆめさとこども園の利用状況報告
- 5 H29年4月新設停留所の利用状況報告
- 6 無料乗車日の実施報告
- 7 平群町高齢者運転免許証自主返納者支援事業報告
- 8 平成28年度事業報告
- 9 議事
議案第1号 平成28年度 平群町地域公共交通会議 収支決算報告
- 10 その他
コミュニティバス運行継続について

【配付資料】

- 資料-1 : 平成28年度 第2回平群町地域公共交通会議 議事要旨
- 資料-2 : 平成28年度コミュニティバス利用実績
- 資料-3 : ゆめさとこども園の利用状況
- 資料-4 : 新設停留所の利用状況（H29年4～5月期）
- 資料-5 : 無料乗車日実施報告
- 資料-6 : 平群町高齢者運転免許証自主返納者支援事業報告
- 資料-7 : 平成28年度事業報告
- 資料-8 : 平成28年度平群町地域公共交通会議 収支決算書
- 資料-9 : コミュニティバス運行継続について

【議事内容】

○前回の議事概要の確認

(事務局より現況報告)

○平成28年度コミュニティバス利用実績・ゆめさとこども園の利用状況

(事務局より現況報告)

県地域交通課：停留所別乗降者数で利用者数が増加した停留所では隠れていた新たなニーズがあったということなのではないでしょうか。

事務局：一般利用の年度的な変化ではないかと認識しています。

NCバス：最近、西山間ルートに実際に乗ってみて、お客様の声を聞いたのですが、これまではご主人に車に乗せてもらっていたけれども、ご主人が亡くなったので最近このバスを利用するようになったという女性の方が2人おられました。そういうことで増えている可能性もあるのではないかと。

事務局：これからそういう聞き取りもしていきたい。

会長：老人福祉センター前、東山駅が増えているといったときに、例えば高齢者の方が老人福祉センターを利用して、その利用が増えているということは、高齢化率が上がってきているということも考えられますが、免許証の自主返納がどれくらいあったとか、そういったこととの関連も検討してみるとか、東山駅でしたら近大病院の利用との関係がどうなっているとか、そういう視点でも検討してみたらどうか。

NCバス：世帯人員の変化があります。地域の1世帯当たりの人数が1人に近づいているのではないかと思いますので分析されたらどうか。

事務局：そのへんについても今後いろいろやっていきたい。

副会長：子供が減っても年配の方は多いので「一緒にバスを利用しましょう」とか「1回乗ってみようかな」とか思われるような働きかけもどんどんやっていただきたい。

事務局：そういうことは積極的にやっていかななくてはならないと考えております。できるだけ乗っていただけるよう、利便性の高いコミュニティバスにしていきたいと考えております。

教育委員会：こども園関係ですが、今年に入りまして、各学校、園の通学、通園の状況を全校に指示をして統計をとりました。ゆめさとこども園はコミバス、NCバスの利用が極端に落ち込みました。こども園では複数のお子さんを抱えている方が多く、登降園に関して安全・安心に送迎したいということで、保護者等の自家用車、自転車等による送迎の割合が非常に高い。我々も安全・安心に通学、通園していただくためにコミバスあるいはNCバスのご利用を促すように、保護者を通じて周知徹底させていただいている。

○平成29年4月新設停留所の利用状況報告

(事務局より状況報告)

副会長：ザ・ビッグの停留所については、周辺の商店街、商業者の方とも十分、話し合いをして、利用していただくような取り組みもお願いしたい。

かんぽの宿はもう少し厳しい見方で考え直したほうがいいのではないか。

事務局：かんぽの宿は利用者が少ない。何とか利用していただけるようかんぽの宿のほうにも利用要請していきたい。

副会長：ザ・ビッグ、駐車場にバスが入って、トラブルは何も報告はないですか。

事務局：いまのところトラブル等は報告されておられません。

○無料乗車日の実施報告

(事務局より実施報告)

県地域交通課：無料乗車日に利用された方々からアンケートとか聞き取りなどで声を聞いたりはされているのでしょうか。

事務局：無料乗車期間のアンケート、聞き取り等は実施しておりますが、それにつきましても調査をさせていただきたい。

県地域交通課：運行ルート、運行時間、ダイヤなどは変えずに、通常のルートとダイヤのまま運賃を無料にしたということですか。

事務局：そのとおりです。事前に各停留所には「無料乗車期間」の周知はさせていただいておりました。

副会長：数字は上がっても、それが本当に今後の利用につながっていくのかということもしっかりと検証していくということでもよろしくお願いしたい。

○平群町高齢者運転免許証自主返納者支援事業報告

(事務局より事業報告)

西和警察署：7町のうち3町で支援していただいています。ほかの自治体もお願いしたいと思っております。過去5年間で各町別、年別で自主返納が増えているのか調査中です。次回、参考として情報提供させていただきたい。

長寿会：警察に返しに行ったときに、平群町でもやっているということを知っていただいたら、もう少し申請が多くなるのではないかと。

西和警察署：県内タクシー、奈良交通、支援事業をしている自治体、割引とかがあるお店や、そういうところの窓口には置いているのですが、返納者の方には極力、「こういうものがあります」ということを窓口で周知させていただきます。

事務局：今後とも広報等も打ちながらまた検討させていただきます。

○平成28年度 事業報告

(事務局より事業報告)

○議事

議案第1号 平成28年度 平群町地域公共交通会議 収支決算報告

(事務局より収支決算報告)

(監査報告)

県地域交通課：歳出ですが予算が63万円余っていますが、要因は何かあるのでしょうか。

事務局：検証とかイベント等は、入札制度を入れておりました、入札等による差金と、行き先、場所の設定によって多少変わってきているということが原因となっております。

副会長：ご承認いただける方は拍手をお願いしたい。

「拍手多数で承認」

○その他：コミュニティバス運行継続について

(事務局より資料説明)

バス協会：コミュニティバスは地元の利用者の方のために存続、継続されるのが一番好ましい。この中で、利用者のニーズ、需要をもう少し的確につかむ必要があると思います。利便性の高い位置に停留所を設置することが必要ではないか。

無料乗車で無料のときに利用者数が増えることは、増えた要因をしっかりと精査して、無料の日を後につながり反映されるような意味のある取り組みとすることが大事ではないかと思います。

免許証自主返納ですが、返納された方々が公共交通にシフトしてきているのかどうか、そのへんをもう1回しっかりと見極める必要があります。

利用者の方、地域住民の方に対してコミュニティバスというものがあるということをもっと周知して、潜在需要を引き出すように情報発信するという努力が必要だと思います。

事務局：住民ニーズを踏まえてというところで、もう少し調査、研究しながら、乗っていただきやすいようなところをつくりながら進めていきたい。

無料乗車日の設定はアンケートをとりながら進めていきたい。

自主返納の方ももうワンステップ上げたご案内をさせてもらいたい。

副会長：冒頭、会長からも「厳しい姿勢で臨む」というごあいさつもございました。

今後の検討内容で、廃止、代替等、いろいろな方法を書いていますけれども、特に南部地域では南北循環が重複している部分もありますので、極論を言えば1本でもいいのではないかと。そういう厳しい見方で考え直していくのも一つの方法ではないか。今後、そういうことをこの中で議論していただけたらありがたい。

事務局：今後の半年間の利用状況を見ながら考えていかなければならない。

県地域交通課：ナビタイム、ヤフーとか、いろいろ経路検索サイトがあるのですが、そちらのほうにバスの運行情報を提供していただくと、スマートフォンやインターネットを利用されている方が手軽に経路検索をされて、それがコミバスの利用にもつながるといふことにもなってきますので、そういった経路検索サイトへの登録などを積極的に検討していただければと思います。

事務局：今後は利用者の人数、年齢層、ターゲットを広げていきたいと思っておりますので、そのような形でまた利用させていただきたい。

○参考資料「主な停留所の時刻表（案）」について

副会長：今後はもう少しわかりやすくとか、きめ細かくとか、そのあたりも十分踏まえて考えていただきたい。

近鉄：どの駅に着いたらどんなアクセスがあって、ここで降りたらこういうことが楽しめる、体験できるということを、知らず知らずのうちにお客様にすり込むというようなことで、駅であったり、バスで言いますと駐車場を利用していただけることにつながるかと思っておりますので、もしよろしければそういったこともやっていただけたらと思います。

NCバス：奈良交通とナビタイムが情報提供の契約をしております。ナビタイムさんをご紹介させていただきますので、ぜひ検討されたらどうか。

教育委員会：各学校、園に対して、対象児童が何人いるか、今後の推移も含めて情報を集約している状況です。今後の運行を考えていくために、地域ごとに対象園児、対象児童がどう推移していくのかデータをご提供させていただければと思います。地域で高齢者がどの程度おられるのか、そういった分布状況も分析することができれば、今後の運行計画を考えていくときに非常に大事な資料になるのではないかと。また分析結果が出たらご提供させていただきます。町内での課外活動のときにバスが利用できないか、無料乗車の時期にあわせてそんなことができないか確認していきたい。

会長：コミュニティバスは平群町の活性化で、非常に大切な公共交通であると思っております。健康に働きかける公共交通、子供たちが通学に利用することによって地域の方と交流する公共交通、観光にも資する公共交通、大きく三つの効果があるということで進めています。

その中で、コミュニティバスのバス停にも行けない人についてはどうするか。これは公共交通というよりも福祉の分野ですが、平群町では社会福祉協議会が主体となってやっている福祉有償運送という事業がございます。

福祉課長：福祉有償運送というのは、身体に障害をお持ちの方や要介護者、一人では公共交通機関を利用することが困難な移動制約者の方にドアツードアで個別輸送するといったもので、これはボランティアがされております。

費用はタクシーのおおむね半額です。1カ月前から予約をされて、都合がつけば前日予約も受け付けているというものです。登録制で、平群町全体で障害をお持ちの方、介護認定を受けておられる方は2,300人程度、登録者210人、実際にご利用の方は100人です。延べ2,400回ほど利用されています。

平群町は高齢化率も高くなってきており、障害の方も増えてきており、介護認定をとられる方も年々増加している状況です。福祉有償運送のニーズは今後も増加していくと考えております。体にハンディのある方には、タクシー料金の半額程度で社協の福祉有償運送をご利用いただいています。

事務局：いままでは国の補助金があり、事業費の2分の1の補助金と合わせて運営していましたが、今年度よりコミュニティバスの委託料3,200万円、すべて町単独の事業であることをご報告させていただきます。

○「参考資料：運行形態の比較」について
(事務局より内容説明)

副会長：これについては次回、具体的に論議されると思いますので、その節にはよろしくお願ひしたい。

事務局：次回、また検討することになりますが、もう一度、委員の皆様それぞれで検討していただきまして、次回にまた載せられるような形でお願ひしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

以 上